△▼第83回定期全国大会 決定事項を申し入れ▼△

北海道地方支部 海運・船員の政策諸課題について

≪苫小牧市≫

1月31日、組合政治参与の首藤孝治苫小牧市議会議員にご同行いただき、岩倉博文市長にご対応いただいた。また、苫小牧市の小名智明産業経済部長、相木健一財政部次長、山口朋史教育部長、力山義雄港湾・企画振興課長が同席し、松本順一北海道地方支部長から、申し入れ文書を岩倉市長に手交するとともに、申し入れ文章の内容を丁寧に説明した

【申し入れ内容】

わが国の海運・水産産業に携わる船員後継者の確保・育成をはじめとする政策諸課題に関するもので、

- ▽海難防止への取り組みと安全対策について
- ▽新型コロナウイルス感染症について
- ▽国民の祝日「海の日」の固定化について
- ▽船員・漁船員の確保・育成等の推進について
- ▽海に親しむ活動の推進について
- ▽船員税制への取り組みについて
- ▽カボタージュ規制の堅持について
- ▽フェリー・旅客船の維持・存続について一などで、いずれについても強く要請した。

【岩倉苫小牧市長】

「苫小牧港は令和5年で、開港60周年を迎え、四面を海に囲まれた道の観点から、海に親しむ活動や海の仕事を知らせる機会を子どもたちに与えていくことは必要と考えている。市は、港湾関係者と連携して、小学校へ訪問し、海や港を知ってもらうため、苫小牧港の紹介、造船所の見学を行ってきた。中学生については、フェリーを活用した修学旅行を活用できないかなど、海に親しむことを子どものころから培っていかねばと考えている。本日の申し入れ内容について、真摯に受け止め、自治体レベルで対応可能なものは検討していきたい」との考え方が述べられた。

北海道地方支部は引き続き関係各位の協力を得ながら、船員に関連する諸問題解決と活動方針の具現化に取り組んでいく。

「海員だより」